		- 茂(2022年及)江戸川	区立清新第一小学校 (国語)科 第(4)学年 年間、生間、生間、生活、計画 1576、新元、新元、新元、新元、新元、新元、新元、新元、新元、新元、新元、新元、新元、
			年間指導計画 及び評価規準 【知理】…知識理解 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ
学明	月	単元名	評価規準
#0			【知技】様子や行動,気持ちや性格を表す語句の量を増し,言葉には性質や役割による語句のまとまがあることを理解し,語彙を豊かにしている。
	4	場面の様子や 森根 1 物の気	【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
		場面の様子や、登場人物の気 持ちを想像しながら読もう	【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。
1 学期			【思判表】「爺むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 【主体】進んで登場人物の気持ちや性格、情景について具体的に想像し、今までの学習を生かして、登場人物になったつもりで日記を書こうとしている。
	5	けっかとけつろんのつながりを とらえよう	【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。
			【毎技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【思判表】「誰むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。
			【主体】貼り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、考える筋道をつかもうとしている。 【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。
	6	伝わりやすい組み立てを考え て書こう	【知技】易しい文語調の短歌や俳句を音流したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
			【思判表】「書くこと」において、書へ内容の中心を明確にし、内容のまとおいで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
			【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。【主体】積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。
	7	登場人物のせいかくや、気持 らを想像して読む)	【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
			【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 【思判表】「話むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。
			【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 【主体】進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって、落語を音能したり頂じたりしようとしている。
			【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。
			【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもている。
			【主体】積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら開き、話し手が伝えたいことや自分が開きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、相手の話を引き出す質問をしようとしている。
			【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
	8 . 9	写真などの図のよさを知り、活 用しよう	【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。
			【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。
			【主体】粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見通しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。 【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。
			【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
			【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。
			【主体】粘り強く間違いを正したり文章を整えたりし、学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。 【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。
		場面の様子をくらべて読み、感 想をまとめよう	【知技】考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
			【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを遊び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを確にしている。
			【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
			【主体】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、心に残った場面をもとに感想文を書こうとしている。
	10		【知技】丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。
			【主体】貼り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、学習の見通しをもって、送る相手や伝える目的に合わせた手紙を書こうとしいる。
			【 知技】主語と迹話との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 【主体】進んで修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、修飾語を見つけたり、修飾語の種類を見分けたりしようとしている。
			【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。
2 学期		自由に想像を広げて書こう	【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを確にしている。
			【主体】積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを遊び、集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見通しをもって「ショーショート」を書こうとしている。
		場面のうつりかわりと結びつ け、登場人物の変化を読むう	[加技]様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとむがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 【歴判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
			[記刊表] 書へとごいわいて、自分の考えされた文文の理由や事例での関係を明確にして、書き衣じ力を上来している。 【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
	11		【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。
			【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。
			【思判表】「統むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。【主体】積極的に、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語のボスターを作ろ
		目的や進め方をたしかめて話 し合おう	としている。 【知技】考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
			【知枝】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。
			राग्द्र
			【主体】積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってクラスで話し合おうとしている。 【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
	12	大事な言葉や文に気をつけて 要約しよう	【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとおりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。
			【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。
			【思判表】「誰むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。【主体】積極的に、目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約し、学習の見通しをもって、本教材の紹介文を書こうとしている。
		調べたことをわかりやすく書こう	【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。
			【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
			【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 【ナナは「特殊的に、白ムのそうしょれたようと思わりまる」という問題と思いまして書きましまることは、一般のの目光によって「不用場合といったほとうしている。
			【主体】積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって「不思議すかん」を作ろうとしている。【毎技】音楽には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。
		五 自分の経験と結びつけて 考えよう	【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選っている。
			[主体]進んで、目的を意識して日常生活の中から集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見通しをもって、クラス全体やグループで話し合おうとしている。
	1		【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。
			【知技】幅広く統書に親しみ、統書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。
			【思判表】「書ぐこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
3 学期			【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。【主体】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、「便利」について考えたことを文章に束とめようとしている。
		伝えたいことをはっきりさせて 書こう	【知技】漢字と仮名を用いた表記,送り仮名の付け方,改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに,句読点を適切に打っている。
			【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役制、段落の役割について理解している。 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
	2		【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。
			【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。【主体】積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、よりよい表現を選んで文章を書こうとして
	H		る。 【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
	i	場面のうつり変わりと、登場人	[思判表]「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。
		場面のうつり変わりと、登場人	「田利本】「強わっし」において「方奈丸塩」が回動」たっしに甘めいて「砂細の本こさと」でいて
	3	場面のうつり変わりと, 登場人 物の気持ちの変化を読もう	【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。